

東京大学低温センター

## 低温センター・ニュース

TEL. 2851,2852(事務室), 2853(技官室)

### ○共同利用研究室の使用申込の受付について

低温センターでは、液体ヘリウム使用設備を持たない研究者等を対象にした、学内共同利用研究室の使用の申込受付を例年通り行っています。来年度使用を希望される方は、2月29日(木)までに、当センターにお申込ください。

### ○委任経理金による料金支払を受け付けています

液体ヘリウム、液体窒素の使用料の委任経理金による支払を希望する研究室は低温センター事務室にお申込下さい。

また、既に申し込まれている研究室は年度更新をして下さい。

### ○定期自主検査について

高圧ガス取締法に基づき、3月4日(月)から3月8日(金)の間、センター及び理、工各サブセンターの主要設備の定期自主検査を行います。これに伴う液体ヘリウムと液体窒素の供給停止はありませんが、ヘリウムガス回収については設備の気密検査中の一時停止があります。詳細については技官室にお問い合わせください。

### ○新しい共同利用研究装置のお知らせ

このたび下記のSQUID磁化測定装置の導入が認められ、本年度末設置の予定で作業が進んでいます。共同利用装置としての公開は4月以降となり、改めて広報いたしますが、装置の詳細などについてご興味のお有りの方は低温センター大塚(内線:2860)までお問い合わせください。

装置名 : SQUID磁化測定システム(Quantum Design社, MPMS-5S)

測定磁場範囲 :  $\pm 5\text{T}$

最大試料寸法 : 直径9mm

DC磁化測定感度 :  $1 \times 10^{-8} \text{emu}$  ( $H < 1\text{T}$ において)

試料振動法測定機能、交流磁化率測定機能、試料回転機能、試料光学効果測定機能付き

測定温度範囲 : 2K~800K

# ○サブセンター別ヘリウムガス回収率

平成8年 1月分 (単位は全て立方メートル)

	1/5在庫	2/1在庫	供給量	回収量	損失量	回収率 (%)
理サブ	414.4	306.6	1116.5	910.3	314	74.4
エサブ	141.2	222.8	1873.2	1335.8	349	85.1
先端研	4.5	12.0	21.0	9.6	4	71.3
浅野第一	118.2	144.8	20.3	46.5	-34	—
分生研	32.5	19.7	39.2	1.1	12	8.3
農芸化学	120.7	150.4	94.5	65.8	-1	—
総合試験所	55.3	218.6	840.0	507.1	170	74.9
システム	0.0	0.0	0.0	0.0	0	—
備考	回収量 ☆回収率 = (供給量 + 1/5在庫) - (2/1在庫) ☆回収ガスは純度100%として回収量、回収率を計算					

☆ センターニュースに関するお問い合わせは、内線2853まで☆